

申請ソフトの操作に欠かせない一冊。

新オンラインシステム 対応



司法書士のための 不動産登記オンライン申請 実務マニュアル

長谷川 清 著

A5判 520頁 定価4,095円(税込)

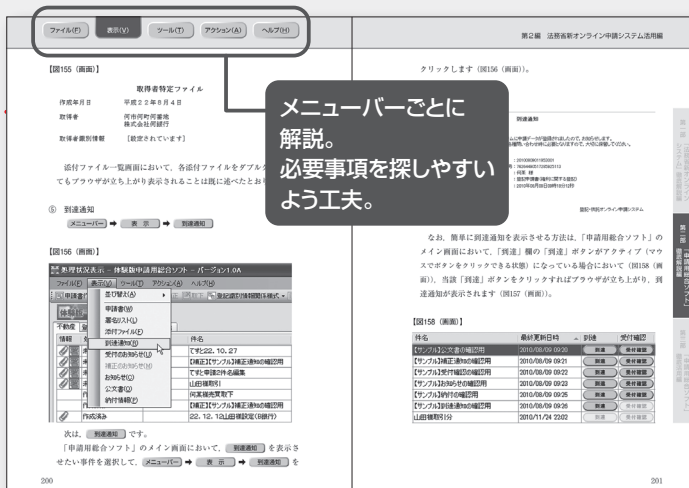
平成23年3月刊 ISBN978-4-8178-3905-3

商品番号: 40421
略号: 登オン

- 平成23年2月14日「新オンライン申請システム」完全対応。
- ソフトの画面を参照しながらわかりやすく解説。
- 初任者からベテランまで、幅広い方のニーズに対応。

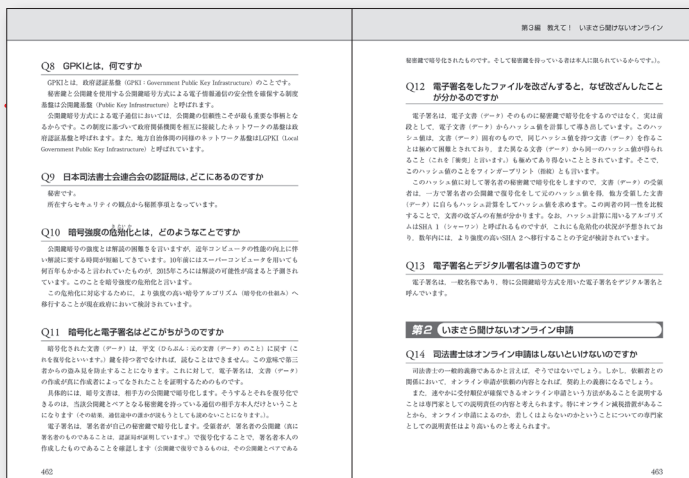
「法務省新オンライン申請システム」活用編

- 新オンライン申請システムを、ユーザーの立場から徹底解説。
- 法務省が提供する申請用総合ソフトの使用方法を徹底検証。
- 具体的事例に即して、ソフトの活用方法を順を追って学べるよう紹介。



「教えて!いまさら聞けないオンライン」

- 電子署名、オンライン申請について、これから始めようとする方が「知りたい・聞きたい」19のQ&Aを収録。
- 実務上押さえておくべき63の一口メモも掲載。



推薦のことば

不動産登記法の全面改正が平成17年に施行され、インターネットでのオンライン登記申請制度が新設されてから、既に5年以上が経過した。また、平成20年1月に不動産登記令、不動産登記規則及び不動産登記事務取扱手続準則が改正施行された後、オンラインでの登記申請数は増加し、不動産登記申請数全体の15%を超えて推移している。しかし、法務省全体の汎用システムの一部を利用している法務省オンライン申請システム（現行システム）には様々な問題が見受けられたのも事実であり、登記独自のシステムが求められていた。

そして、本年2月14日に稼働となった法務省の新システム「登記・供託オンライン申請システム」は、従来の汎用システムと異なり、法務局が直接受付窓口となる、言わば登記・供託の専用システムである。今なおいくつかの問題点があり、今後の改善が待たれるものの、相当程度の利便性の向上が期待できるとともに、業務の向上と、ひいては依頼者の権利保護につながるものと期待している。

新システムはまず不動産登記、商業・法人登記、動産譲渡登記、債権譲渡登記の各手続において運用が開始され、その余の供託、成年後見登記、電子公証の各手続については、平成23年度中に現行システムから新システムへ移行される予定である。

不動産登記における司法書士の専門性を発揮できる場として「本人確認情報の提供」と「登記原因証明情報」があるが、オンライン申請が進むことによって、執務のあり方が変わったとしても、安全で安心できる不動産取引の現実性を高めるべく、一層司法書士の専門性を高め、充実した登記原因証明情報を提供することにより、登記の真正担保を確保することができるという認識を持ち続けねばならないのは言うまでもない。

不動産登記制度は、言うまでもなく国民の権利を保全する国民のための制度である。これから電子社会がより一層進んだとしても、登記やその他の業務を通じて「くらしの法律家」として国民とともに歩んでいくことが司法書士には求められている。

本書は不動産登記申請の中心的担い手である司法書士の実務参考書として好適なものであり、本書を活用することにより、司法書士が今後ますます国民の権利を保全し、かつ社会に不可欠な存在として活躍することを願い、本書を広く推薦する。

平成23年3月

日本司法書士会連合会
会長 細田 長司

はしがき

「登記・供託オンライン申請システム」が本年2月14日に稼働を開始した。新システムは、法務省民事局が直接コントロールするものであり、今後、利用者にとっても利便性の向上のためのシステム改善等、小回りのきく対応ができるものと期待するところである。

本書は、オンライン申請に関心を持つすべての方にとって、新システムを利用するにあたっての座右の書であるとともに、現時点における新システムに関する情報を可能な限り盛り込んだ解説書となることを意図している。そのため、実際にオンライン申請を行うおとする者にとっては、必要かつ十分な情報が得られるものと考えており、また依頼者の代理人として登記のオンライン申請実務にあたる司法書士にとっては必要と思われる周辺情報にも言及し、実務の指針となるよう配慮した。

また、ユーザーの立場から、できるだけ具体的な利用に即したかたちで解説した。前述の意図したところが十分に実現されているかどうかという点については、読者諸兄の今後の批判を待ちたい。

なお、初任者からベテランの方まで、聞くに聞けない事項に関しての疑問点を第3編にQ&A形式で記載するとともに、実務において押さえておくべき通達などの資料も巻末に収録している。

本書が、「登記・供託オンライン申請システム」に携わるすべての方にとってのよき座右の書となり、ひいてはオンライン申請の普及推進に役立つところがあるとすれば、執筆者としては望外の喜びである。

最後に本書出版にあたりお世話いただいた日本加除出版株式会社の眞壁耕作氏、佐伯寧紀氏並びに校正の労をとっていただいた野口健氏に感謝申し上げます。

平成23年3月

司法書士 長谷川 清

目次

第1編 総論

- 第1 はじめに
- 第2 本書の上手な利用方法
- 第3 オンライン申請への5つの薦め
- 第4 「法務省オンライン申請システム」との相違点

第2編 法務省新オンライン申請システム活用編

- 第1部 「法務省新オンラインシステム」徹底解説編
 - 第1 「法務省新オンライン申請システム」について
 - 第2 受付代行システムについて
 - 第3 申請用総合ソフトについて
 - 第4 申請用総合ソフトの共同利用について
- 第2部 「申請用総合ソフト」徹底解説編
 - 第1 ハードウェア・ソフトウェア

- 第2 ダウンロードからインストールまで
- 第3 事務所環境に適した使い方
- 第4 ID、パスワードの取得
- 第5 起動からメイン画面（処理状況表示画面）表示まで
- 第6 メイン画面徹底解説
- 第7 現行システムと新システムの併用
- 第3部 「申請用総合ソフト」徹底活用編
 - 第1 不動産登記編

第3編 教えて！いまさら聞けないオンライン

- 第1 いまさら聞けない電子署名
- 第2 いまさら聞けないオンライン申請
- 第3 新オンライン申請システム一口メモ

資料編